

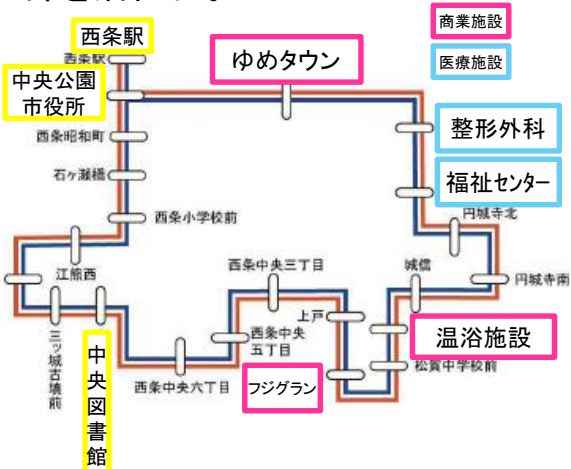
18. 東広島市地域公共交通再編実施計画

■市街地における循環線の導入、交通結節点の整備とそれに伴うバス路線の再編により、利用者維持を目指す

【主な事業内容】

◆市街地循環線の新設(平成29年度)

市民の利用頻度が高い商業施設、医療施設を結ぶ循環路線を整備し中心部を活性化。



- ・8時～20時まで1時間に4便 (時計回り・反時計回り2便ずつ)
- ・1乗車200円 1日フリー乗車500円

【効果】

- ・ニーズの高い施設へのアクセス向上を図ることにより、主な施設をカバー
- ・年間4200万円の増収見込み(路線の収支率は70%)

再編後

公的負担6,000万円減
収支率68.2→71.5にアップ



【西条地域:平成31年度】

- ・交通結節点の整備
- ・結節点を活用した既存路線の経路見直し

【黒瀬地域:平成32年度】

- ・交通結節点の整備
- ・結節点を活用した系統分割など効率化

◆西条駅～東広島駅の系統集約(平成29年度)

・西条駅～東広島駅間は、これまで系統ごとに異なる経路を運行していたが、需要が多い経路に統一。

【効果】

- ・経路の統一により実質的には便数が増加し、利便性と分かりやすさが向上。
- ・経費1600万円減 収支率2.4%改善

【安芸津地域:平成30年度】

- ・東広島駅での系統分割 (ICカードを活用した乗継割引を設定)
- ・コミュニティバスへの統合

